

文化・芸術

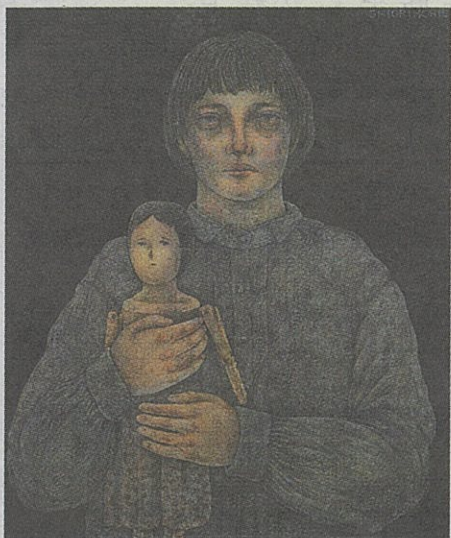
「輪郭#∞」

2019年、岩絵の具、膠、和紙
72.7cm×60.7cm（作者寄贈）

堀江 栞（1992年）

堀江栞さんはフランスに生まれ、2014年多摩美術大学美術学部絵画学科日本画専攻卒業。対象と真摯（しんし）に向き合う時間から、独自の質感を宿す作品を描き続けてきました。徹底的に追及されるその平面表現は、早くから高い評価を得て、15年五島記念文化賞美術新人賞受賞により奨学生としてパリで1年間の滞在制作を行います。このパリでの生活で出会った人々のイメージを重ね、描き始められたのが「輪郭」シリーズです。

本展へのコメントに「心をつかまれたものに、確かな形を与えたいという思いで制作を続けてきました」という堀江さん。天然素材由来の岩絵の具と顔料、和紙、膠（にかわ）だけで描く彼女にとって、岩絵の具は単なる画材にとどまりません。「粒子のひとつひとつ」は、あたかも画家自身の「細胞」でもあるかのごとく、その絵画は非常な密度が保たれています。本展では、学生時代の旧作から最新作まで19点をご覧いただきます。※23日午後2時から、展示室で堀江さんのアーティストトークを開催します。（小此木）



名画の扉

企画展「The日本・画一大川美術館
のコレクションを中心に」から